

POPOLA ぽぽらだより

まちのことを、はじめる場所。

「ぽぽらだより」は、春日部市市民活動センター（ぽぽら春日部）が発行するまちづくりや市民活動を広めるためのフリーペーパー（広報誌）です。ぽぽら春日部はまちの課題に取り組み、市民の暮らしに新たな価値を生む公益的な活動を応援する施設です。地域のための活動をしている人、始めたい人がつながっていく場所でもあります。皆様のご利用をお待ちしています。

発行元 春日部市市民活動センター
(指定管理者：(株)コンベンションリンクージ)
発行日 年4回（6月、9月、12月、3月）

2019.12
vol. 30

点数をつけて、合計点を出すのじゃ



団体の「今」を自己診断！

市民活動 セルフチェックシート

3点：ほぼ当てはまる
2点：どちらともいえない
1点：ほぼ当てはまらない

毎年度、新たに年間の活動計画を立てている	<input type="checkbox"/>	点
スタッフや会員が積極的に役割（役職）を担っている	<input type="checkbox"/>	点
毎年度、活動報告書を作成している	<input type="checkbox"/>	点
お互いに役割を担って他団体と協働することがある	<input type="checkbox"/>	点
活動ミッション（目的）を団体内で共有している	<input type="checkbox"/>	点
活動資金を得るための取り組みをしている	<input type="checkbox"/>	点
活動の利益を会員間などで分配していない	<input type="checkbox"/>	点
毎年度、会計報告をしている	<input type="checkbox"/>	点
会員だけではなく、さまざまな人が参加している	<input type="checkbox"/>	点
会員以外に活動を必要としている人たちがいる	<input type="checkbox"/>	点
活動内容を積極的に発信している	<input type="checkbox"/>	点
社会的な活動の具体的な成果目標をつくっている	<input type="checkbox"/>	点

合計 点

16点未満

16点以上

22点以上

28点以上

A

B

C

D

意外と当てはまらないぞ！

活動を振り返ることは大切です。



11月30日(土)に「こどもライブフェスタ 2019～やってみよう、つくってみよう、だれでもアーティスト」(主催:春日部こどもライブフェスタ実行委員会)が開催されました。今年もたくさんの親子が訪れた本イベントについて、事務局長の新井恵美さん(春日部おやこ劇場)にお話を伺いました。

ー「こどもライブフェスタ」について教えてください。

元々は11月14日の「埼玉県民の日」を「子ども文化の日に」という呼びかけで、県内各地のおやこ劇場が始めた子供向けの文化体験イベントでした。春日部では2012年から春日部おやこ劇場の主催で開催していましたが、昨年より協働団体に組織する「春日部こどもライブフェスタ実行委員会」が主催となり企画・運営を行っています。今年も忍者修行を中心に、ダンボール迷路、ダンスショー、さまざまな手作りコーナー等、「見る」「作る」「遊ぶ」体験を、来場された家族の皆さんで一日楽しんでもらいました。

ー本当にたくさんの方が関わっていますね。

実行委員に加わっている市民活動団体の皆さんはもちろん、共栄大学や松実高等学園の学生さんなど、およそ180人のボランティアの方に支えられています。たくさんの方が関わっているので、情報共有などの面で協働していく難しさを感じることもあります。ただ、昨年からは主催が実行委員会に変わったことによって、委員の一人ひとりが、集客や資金集めについても主体的に考えてくれるようになり、とても助かりました。また、「子ども」という切り口はありますが、参加団体の皆さんには普段されている市民活動をできるだけそのままやってもらうようにしています。普段と異なる活動をするので負担となってしまっては長続きしません。

ーこどもライブフェスタ(の魅力)とはどんなものですか？

大人も子どもも、参加者もスタッフも「人と出会い、楽しめる場所」だと思っています。これまでも市民活動センターで本当にたくさんの方と出会い、一緒にイベントをつくってきました。「子供の笑顔を見るために一肌脱ごうぜ」という大人たちが集まり、イベントを通じて自分自身も笑顔になれることは魅力だと思っています。

ー参加してくださる方に伝えたいことはありますか？

子ども達にはその場を楽しんでもらうことはもちろん、楽しんでる大人たちを見てほしいと思っています。本気で楽しむ地域の大人たちの姿を通じて、楽しむことを肯定し、まず自分を好きになってほしいです。大人たちも、子どもとふれあい、理解し、楽しんでほしいと思っています。

人それぞれの見方・感じ方を楽しんでほしい。



こどもライブフェスタ実行委員会【協働団体一覧】

- 実行委員長 : 関根恵子(春日部おやこ劇場)
- 副実行委員長: 西山光昭(春日部C工房)

おもちゃの病院/春日部おやこ劇場/春日部C工房/春日部シニアふれあいPCサークル/Satori/しっぽとかぞく/ふれあい大学寺子屋パソコンクラブ/水創スタジオ/みらいラボ/昔のあそび本舗/昔の子ども遊びいちごの会/森脇美知代/友楽の会/吉江登志子(50音順)

市民活動の祭典 今年も盛大に開催！！



12月7日(土)～8日(日)の2日間にわたって、ふれあいキューブにて第8回「ぼぼらフェスティバル」が開催されました。昨年を上回る合計43の市民活動団体が出展し、それぞれ展示や体験ブース、イベント等を催しました。当日は寒い中たくさんの市民の方にご来場いただき、前の週に行われた「こどもライブフェスタ2019」に続いて賑やかな週末となりました。当日参加された市民活動団体の皆さんの声をお届けします。

ー不登校を考える親の会・かすかべさん

どんな子でもちゃんとした子ども時代を過ごせるようになることを願い、当事者の親に寄り添える会を開催しています。『アンダンテ』というひきこもりを題材にした映画で、祭り寿司を扱ってもらったこともあり、当日は、手作りの祭り寿司を販売し、たくさんの方に喜んでいただけました。

ーヒッポファミリークラブ春日部さん

幼児でも楽しめる「釣りゲーム」を通じて、参加者と一緒に多言語に親しみました。私たちは多言語の自然習得を実践していくことで、人間の言葉を探求しています。今回のフェスティバルでは50組を超える市民の皆様に私たちの活動を紹介できたことが本当に良かったです。

ーまちづくり協議会・元気塾さん

今年も春日部の地産ブランド「梅田うまみ牛蒡(ごぼう)」と「金ごま」の限定販売を行いました。地域の伝統野菜を広めていくことで、生産者と消費者のつながりを強くし、元気のあるまちにしていきたいと考えています。今回は、来場した方から新商品開発のヒントもいただきました！

ー国際障がい者活躍社会創造協会 (IAEC) さん

障がい者と健常者とが共生できる社会を目指し活動しています。オリンピック種目になっている「ボッチャ」を体験してもらうことで、相互理解の精神を伝えられたんじゃないかと思います。老若男女を問わず思っていた以上にたくさんの方が参加してくださいました。次回も参加してみたいです！

【ぼぼらフェスティバル参加団体一覧】

【4F】日本セラピューティック・ケア協会埼玉支部／彩の国いきがい大学春日部学園17期「将棋クラブ」／かすかべ案内人の会／埼玉県社会保険労務士会春日部支部／春日部ボランティア活動推進連絡会／春日部五行歌クラブ／御風印會／市民後見センターさいたま／春日部コミュニティビジネス倶楽部 Kas Biz／不登校を考える親の会・かすかべ／春日部まちづくり応援団／民主文学会／ハードウェア倶楽部／学校図書館を考える会・かすかべ／くらしの相談室／国連 NGO WFWP 埼玉第5連合会／健康予報士・埼玉まちづくり健康クラブ／昔の子ども遊びいちごの会／科学クラブ・彩ねっと東部グループ／ハンドセラピー・彩／春日部シニアふれあいPCサークル&ふれあい大学寺子屋パソコンクラブ／自彊術普及会春日部支部／経営革新塾しよう会【2F】ヒッポファミリークラブ春日部／灯り(1983)【1F】春日部市赤十字奉仕団／国際障がい者活躍社会創造協会(IAEC)／ボーイスカウト春日部第7団・第9団／障害児者の為の市民、大学もの作りネットワーク／みらいラボ／里仁・春日部「論語を学ぶ会」／埼玉県診察放射線技師会／春日部観光ボランティアの会／ちりめんクラブ／春日部市ふれあい大学校友会ウォーキングクラブ／病院ボランティア「かるがも」／新日本婦人の会春日部支部／草加友の会春日部支部／まちづくり協議会・元気塾／庄和マジッククラブ／春日部マジッククラブ(順不同)



ポシュウ

セミナー

広報スキル

無料でつくれるホームページ講座

講師：NPO 法人埼玉情報センター 秋本創さん
場所：春日部市市民活動センター 会議室1 (4階)

2/9 (日) 14:00 - 17:00

新年始めの市民活動講座は、広報のお悩み解決講座の第四弾です。簡単に無料でできるホームページの作り方を解説します。当日ノートパソコンを持参の場合はその場でつくれます。キャッチコピー、主な活動内容、連絡先、写真等、掲載したい情報整理のための事前課題のワークシートがあります。

無料

要予約

定員
20名

対象
どなたでも
OK



ハウコク

活動情報の届け方を学ぶ

今秋に「広報」と「情報発信」をテーマとした市民活動講座を開催しました。講座では、基礎的な内容からすぐにも実践できる具体的なコツまで、講師よりたくさんのアドバイスをいただきました。ぽぽら春日部では、館内に登録団体の皆様から提供された会報誌を配架しております。会報誌を作成された登録団体の皆様はぜひ受付までお持ちください！

- 『もっと多くの方に見てもらおう！ Facebook 活用術』9/1 (日)
- 『こうすれば良くなる！ 会報誌づくり』11/2 (土)、11/9 (土)



ポシュウ



ハウコク

「ジムキョクラブ」に来てみませんか？

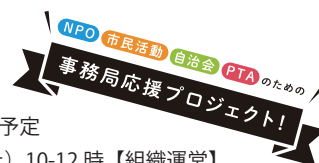
ジムキョクラブは団体の事務局担当者がお互いの悩みや知見を共有し、情報交換を通じて「事務局力」を高め合う活動です。11月にはゲストにコミュニティづくりの専門家を招いて、イベントや団体に「人が来ない」という悩みについてアイデアを交換を行いました。今後もあるあるテーマで定期的に開催しますので、事務局担当の皆さんのご参加をお待ちしています。



今後の開催予定

- 1/18 (土) 10-12 時【組織運営】
- 2/12 (水) 10-12 時【会議運営】
- 3/7 (土) 10-12 時【情報共有】

※詳しくは館内にあるパンフレットまたは、ホームページをご覧ください。



表面の診断結果と ぽぽら活用の心得

診断結果はいかがでしたか！？
どんな活動も日々の振り返りが大切です。ぽぽら春日部では、市民活動団体の皆さんへのさまざまなサポートをしています。
この機会にぜひご相談ください。

A

モヤモヤカフェに参加

Aのあなたは、今の団体の活動に少しモヤモヤしているかもしれません。モヤモヤカフェで一度悩みを吐き出してみたいか？何かヒントが見つかるかも。

B

市民活動講座を利用

Bのあなたは、講座を活用して知識やスキルを向上させましょう。講座で得た知識は、団体内で共有したり、活動のなかで即実践してみるのがポイントです。

C

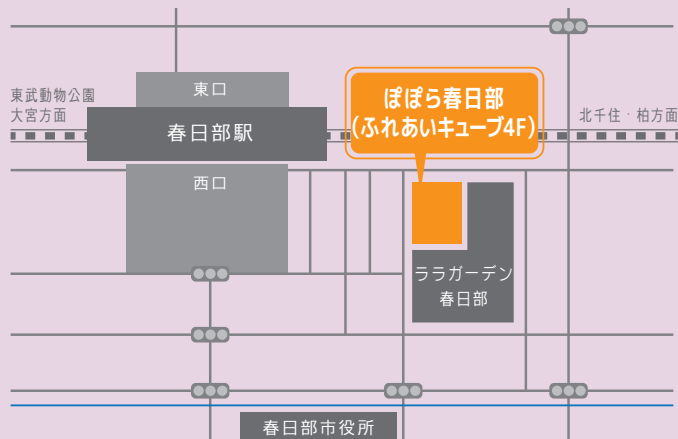
ジムキョクラブで相談

Cのあなたは、現在の活動の課題と向き合い、活動の持続的発展を目指してみたいか？まずはジムキョクラブでアドバイザーに相談してみよう。

D

交流会を通じて他団体と協働

Dのあなたは、その活動を通じて得た知見をぜひ地域のために活かしてください。交流会に参加することでさまざまな団体とつながり、助けとなることができます！



イベント・セミナーのお申し込み・お問い合わせはこちらから

☎ 048-731-3550

✉ popola@kasukabehall.jp

春日部市市民活動センター (ぽぽら春日部)

年中無休 (年末年始を除く) 9:00 ~ 21:30

TEL 048-731-3550 FAX 048-734-1605

〒 344-8578 埼玉県春日部市南 1-1-7 ふれあいキューブ 4 階

<http://kasukabe.genki365.net/>

<https://www.facebook.com/popolakasukabe/>



※東武スカイツリーライン/アーバンパークライン「春日部駅」下車。西口徒歩5分。
※駐車場 (有料) は数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。

※当施設の会議室を利用するには、「団体登録」が必要となります。登録には窓口でのヒアリング及び登録申請書、団体の規約、名簿、活動実績等の資料の提出が必要となります。詳しくは上記窓口にお問合わせください。

※交流・ミーティングスペースは未登録の団体でもご利用いただけます。

※キッズスペースは未就学のお子様と保護者の方にご利用いただけます。